

このたびは、パールドラムセットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
 思わぬ事故やケガを防ぎ安全にご使用いただくため、製品をご使用になる前に、本書を必ずお読み下さい。

#### ■パッキングリスト このパッケージには以下のものがふくまれます。

- |                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| ●チューニングキー……………x1            | ●ハイハットスタンド……………x1      |
| ●バスドラム・シェル(胴)……………x1        | ●ドラムペダル……………x1         |
| ●バスドラムヘッド(フロント/打面)……………x1pr | ●スネアドラム……………x1         |
| ●バスドラム用フープ……………x1pr         | ●スネアスタンド……………x1        |
| ●バスドラム用テンションボルト&フック……………x12 | ●シンバルスタンド……………x1       |
| ●フープクランプゴム……………x1           | ●ドラムスローン……………x1        |
| ●タムタム(大・小)……………x2           | ●ドラムスティック……………x1pr     |
| ●タムホルダー……………x2              | ●ハイハットシンバル……………x1pr    |
| ●フロアタム・シェル(胴)……………x1        | ●シンバル……………x1           |
| ●フロアタムヘッド……………x1pr          | ●グリース……………x1           |
| ●フロアタム用フープ……………x1pr         | ●バスドラム用テンションボルト(予備) x1 |
| ●フロアタム用テンションボルト……………x12     | ●フロアタム用テンションボルト(予備) x1 |
| ●フロアタムレッグ……………x3            | ●ラグナット(予備)……………x1      |






ドラムセット完成図

# 安全にお使いいただくために

ドラムセットは本体が重くかさばります。室内での置き場所や日常の取扱いについて、安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、学校もしくはご家庭で小さなお子さまがご使用になる場合は、指導者の方及びご家族の方から、お子様に適切な取り扱いを教えてあげてください。

## 表示記号について

本書では、本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に危害を及ぼすことや財産の損害を未然に防ぐための事項を下記の記号で表示しています。内容を良く理解してから組み立ての作業にお取りかかり下さい。

 <b>警告</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 <b>注意</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 <b>お願い</b> この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	---	--

● 外部要因によって生じた本器の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

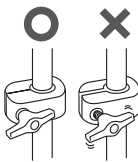
## 設置上のご注意

### 警告

ネジ類はしっかりと締めてください。

演奏中の転倒や落下を防ぐために、ネジ類はしっかりと締めてからご使用ください。

また、角度調整にギアを用いているモデルでは、ギアをしっかりと噛み合わせてください。噛み合っていない状態で無理に固定すると、トレーニング時の振動でシンバル等が脱落する事があります。



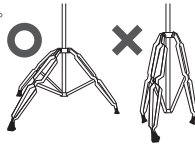
### 注意

ドラムセットを設置する際の注意!

設置場所は、床面が平らで丈夫な所をお選び下さい。床が傾いたり段差があると不安定になり、転倒する恐れがあります。また、ドラムセットを室内でお使いになる場合、スタンド等で床などを傷つけたり汚したりする恐れがありますので、直接置かずカーペットなどを敷いてからセッティングされることをおすすめします。

転倒にご注意ください。

スタンド設置時には三脚を十分に開いてご使用ください。



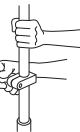
ドラムセットの周辺での「遊び」は危険です。

ドラムセットの周りで遊びますと顔や頭をぶついたり、つまずいたり転んだりする恐れがあります。お子様がドラムセットの周りで遊ばないようご注意ください。



タムホルダー、スタンドの調整時は、必ず上部を支えながら行ってください。

タムタムやスタンド類の高さや角度を調整する際に急にネジを緩めると、ドラムやシンバルの落下などで指を挟む恐れがあります。片手でタムタムや上部をしっかりと支えながらゆっくりとネジを緩めてください。



地震の時はドラムセットに近づかないでください。地震による強い揺れでドラムセットが移動したり転倒する恐れがあります。地震の際にはドラムセットに近づかないようにしてください。

## 取扱い上のご注意

### 警告

鋭利な部分の取り扱いには、とりわけ注意して下さい。機能上、先端部分が鋭い形状となっている部品がありますので、取り扱いには十分注意して下さい。

脚の先端部にご注意下さい。

バスドラム脚やスタンド脚の先端は、演奏時の滑りを防止するため、先端が尖っており、指や手のひら、足等にけがをする恐れがありますので、取り扱いには十分注意して下さい。

スタンドの三脚を折りたたむ際は指をはさまないように。スタンドの三脚を折りたたんで収納する際、三脚で指を挟む恐れがありますので、作業には十分注意して下さい。

スタンドのパイプの切断面にご注意下さい。

スタンドをセッティングしたり収納する際に、スタンドパイプの断面で指が刺さる恐れがあります。故意もしくは不必要にパイプ内へ指を差し込まないよう、ご注意ください。

ドラムイスの上に立ったり、踏み台にしないで下さい。

ドラムイスの上に故意に立ったり踏み台の代わりに使うと、シートが回転したり落下する恐れがあるため危険です。また、イス本体が倒れたりして事故が生じる恐れがあります。ドラムイスはドラム演奏の目的だけに使用して下さい。

ドラムイスの高さ調整は、腰掛けたままで行うと危険です。

イスに腰掛けたままで高さ調整の操作をすると、シートが急激に落下し、指を挟んだり腰を痛めたりする恐れがあります。操作は必ずイスから降りて行い、スレ防止のストッパーのネジをしっかり固定してからお使い下さい。

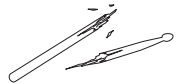


スティック類は練習演奏以外に使用しないでください。

スティックやワイヤーブラシはドラムを演奏するためのものです。人の頭や体を叩いたり投げたりといった危険な行為はしないでください。



スティックの折れた破片にご注意ください。スティックは木製品です。演奏中に折れて破片が飛び散る可能性がありますので、あらかじめご注意ください。



ネジ部の油にご注意ください。

ドラム本体やスタンド類のネジには潤滑油としてグリスが使用されています。持ち運びや設置の際に衣服に付着する恐れがありますので十分ご注意ください。

金属部品のサビや劣化にご注意ください。

金属部品は使用しているうちにサビを生じたり、傷ついたりします。サビたり腐付いた部品を強くこすって手にケガをしないようご注意ください。また、ドラムペダルやハイハットスタンドのペダルは素足で踏まないようにして下さい。

## 保管上のご注意

### お願い

金属部品は時々乾拭きしてください。

サビを防止するために、ドラム本体の金属パーツやスタンド類は時々乾拭きしてください。

高温・多湿となる場所は避けてください。

車の中や直射日光のあたる場所に長時間本製品を保管したりしないよう、保管場所には十分注意してください。



床面を傷つけないようにご注意ください。

バスドラムレックやスタンドに使用している脚ゴムは、長時間同じ場所に設置すると床面に色うつりすることがあります。床面やカーペット、畳などを汚して傷ついたりしないためにあらかじめ厚手のカーペットや専用のマットを敷いた上に設置される事をお薦めします。

## バスドラムの組み立て

バスドラムは、シェル(胴)本体とパーツが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. バスドラムのフロント側(ブラケットのついている方)を上にしてシェルを床に置き、パール・ロゴのあるヘッドをかぶせ、バスドラムフープを(平らな方を下にして)のせます(図1)。
2. フックにテンションボルトを通し、バスドラムフープにフックを引っ掛け、ラグのラグナットにネジ込んでヘッドにテンションをかけます(図1)。

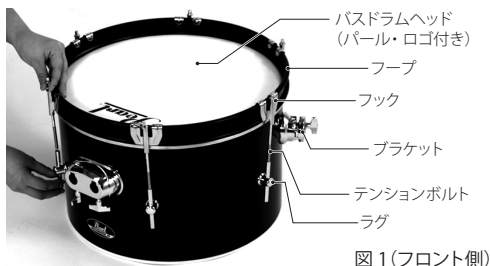


図1(フロント側)

3. バスドラムの打面側もフロント側と同様に、ヘッド、フープ、テンションボルトを取り付けます。
4. タムホルダーベースが上になるよう、バスドラムをおき、左右のブラケットにバスドラムスパーを取り付けます(図2)。



図2

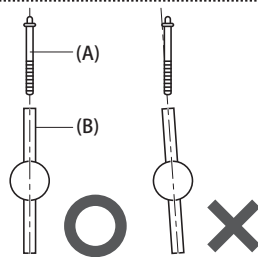
5. バスドラム打面フープの、ドラムペダルを取り付ける位置にフープクランプゴムを貼って下さい(図3)。



図3

### ⚠ 注意

テンションボルト(A)取り付けの際は、ラグナット(B)と垂直(水平)になるように取り付けてください。



## タムタムのセッティング

2本のタムホルダーをバスドラムのタムホルダーベースへそれぞれ取り付けます。タムホルダーベースのナットを仮締めたのち、大小 2つのタムタムをタムホルダーに取り付けます(図4, 5)。



図4



図5

### ⚠ 注意

タムタム取り付けの際は十分にご注意ください。

### ヒント

タムホルダーには、回転・ズレ防止のためのリング・ストッパーがついているので、タムタムの位置関係や角度が決まったらロックをしましょう。また、リング・ストッパーを一度固定しておけば、次からのセッティングが大変スムーズになります(図5)。

## フロアタムの組み立て

フロアタムは、シェル(胴)本体とパーツが別々に梱包されていますので、下記の順に組み立てて下さい。

1. 打面側(フロアタムレッグブラケットがついていない方)を上にしてシェルを床に置き、ヘッドをかぶせ、フープをのせます。
2. フープにテンションボルトを通し、ラグナットにネジ込んでヘッドにテンションをかけます(図6)。



図 6

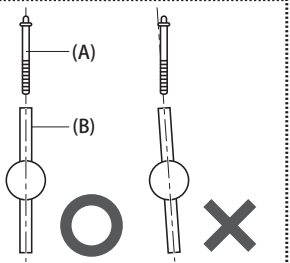
3. フロアタムのボトム側も打面側と同様に、ヘッド、フープ、テンションボルトを取り付けます。
4. 付属のフロアタムレッグをレッグブラケットに差し込み、ウイングボルトで固定します(図7)。



図 7

### ▲ 注意

テンションボルト(A)取り付けの際は、ラグナット(B)と垂直(水平)になるように取り付けてください。



## ハイハットスタンドのセッティング

### フットボード&脚部のセッティング



図 8



図 9

### 上部の組立て

脚部のプルロッドに上部パイプを上から差し込み、好みの高さに調整してダイカストジョイントのウイングナットで固定します(図10)。

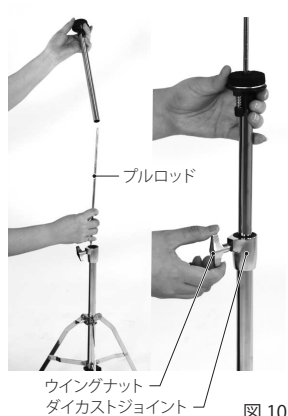


図 10

次に 2枚のハイハットシンバルの内、1枚をカップのフェルトに乗せます(図11)。

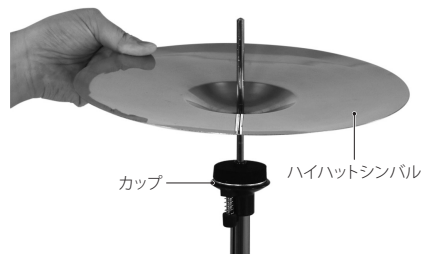


図 11

もう1枚のハイハットシンバルは、ハイハットクラッチの2枚のフェルトの間にはさみ、ナットで下から固定し、プルロッドを上から差し込みます(図12)。



図12

シンバルの間隔を調整するには、フットボードのペダルを踏み込み、上下のシンバルに適度な隙間ができる位置でハイハットクラッチのウイングボルトを締めてください(図13)。



図13

## ドラムペダルのセッティング

フットボード下のラジャスロッドの先端(左右とも)をメインポストの接続部(穴)に差し込みます(図14)。

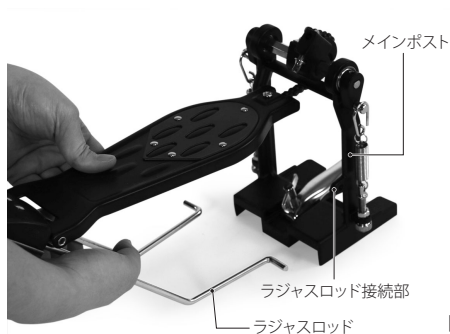


図14

ピーターのシャフトをピーターホルダーの穴に差し込み、付属のチューニング・キーでキーボルトを締めて固定します(図15)。

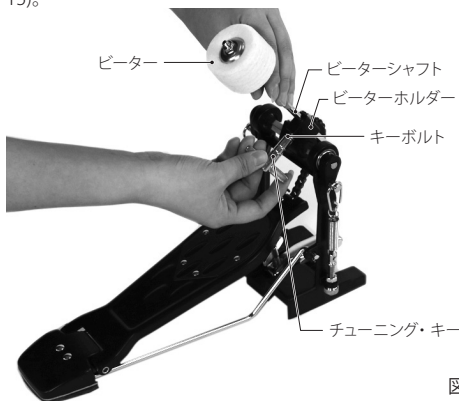


図15

バスドラムへの取り付けは、フットボードの下にあるフープランプ部をバスドラム・フープにはさみ込み、ウイングボルトで固定します(図16)。その際、バスドラム・フープにフープクランプゴムが装着されている事をご確認ください。

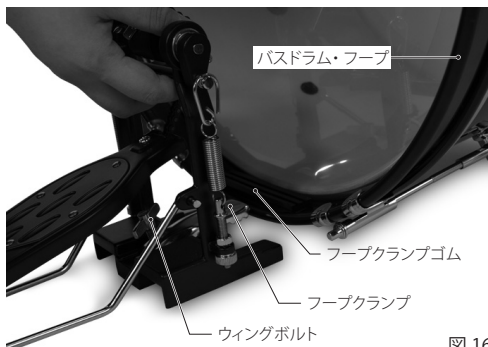
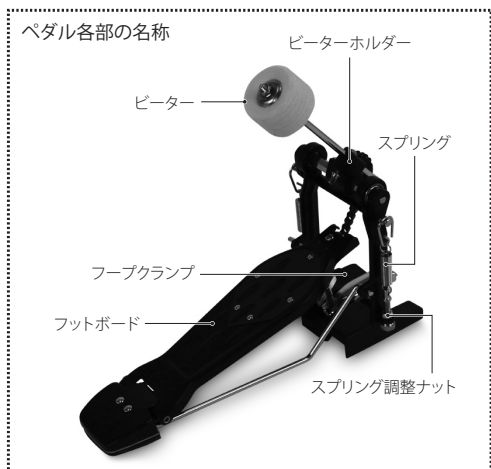


図16

バスドラムに取り付け後、ペダルを踏み込み、スプリングのテンションを好みに合うよう、上下のスプリング調整ナットで調節して下さい。

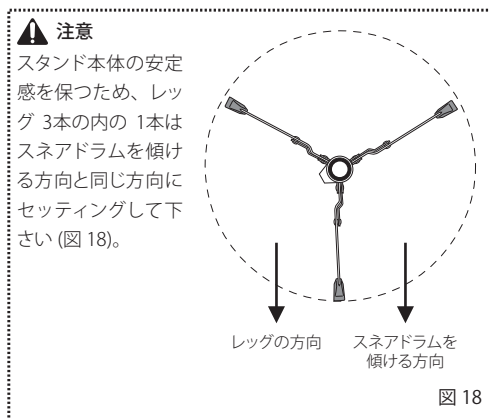


### スネアドラム / スネアスタンドのセッティング

1. 脚部を適度に開き、上部パイプを脚部のジョイントに差し込み、脚部のウイングボルトを締めて固定します。
2. バスケットを適度に広げ、調整ネジでスネアドラムを固定します。その際、ストレイナー(スイッチ)は左手(左利きの場合は右手)で自由に操作できる位置にしておきます。叩きやすい高さ、角度になるよう、各部のボルト / ナットを使って調整し、位置が決まったら再び締めてしっかりと固定して下さい(図 17)。



図 17



### シンバルスタンドのセッティング

1. 脚部を適度に開き、上部パイプを脚部のジョイントに差し込み、脚部のウイングボルトを締めて固定します。
2. シンバルスタンド上端のティルター部の 2枚のフェルトにシンバルをはさみ、ウイングナットで固定します(図 19)。

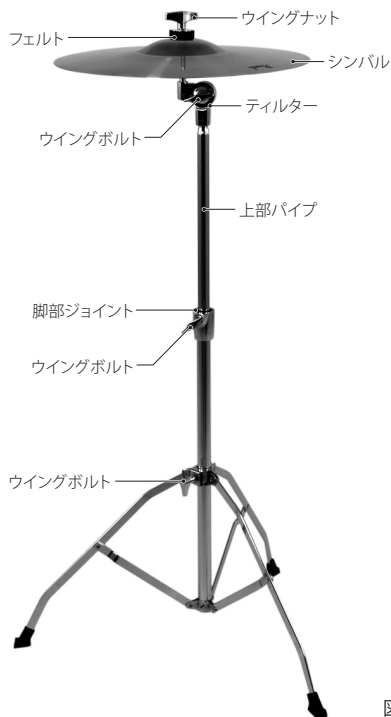


図 19



## ドラム椅子のセッティング

1. 根角ボルトを上部パイプにある大きな穴の方に差し込み、ワッシャーを通してハンドルナットで軽く固定します (図 20)。

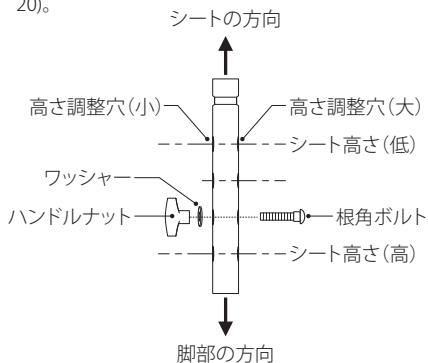


図 20

### ヒント

シートの高さは、高さ調整穴を変えることで変更できます。

2. 脚部を開き、シート裏面のシートジョイントに上部パイプを差し込みハンドルボルトで固定します (図 21)。



図 20

### 注意

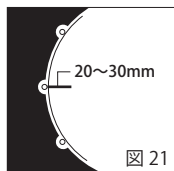
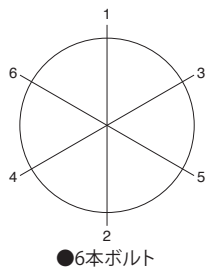
根角ボルトが脚部のジョイントにしっかりとハマっている事を確認してから、ハンドルナットをしめてください。

## 基本的なチューニング

基本的なチューニング (音合わせ) 方法を、スネアドラムを例にとり、ご紹介します。まず、対角線上にあるテンションボルトをそれぞれ少しずつ締めながら、全体のピッチを上げていきます。リム (フープ) の近くのヘッド面をスティックなどで軽く叩き、音程 (ピッチ) がバラついていたら、テンションボルトの締め具合を調節して、ピッチを整えます (図 21)。タムタムやバスドラムなどのチューニングも基本的には同じですが、一般的なロックサウンドをつくるには、裏側 (ボトム) のヘッドのピッチを打面側 (トップ) よりやや高めにしておくとよいでしょう。バスドラムの場合、ミュート (ヘッドの振動を抑えること) をすると音が締まって叩きやすくなったり、フロントヘッドに穴をあけると音のヌケがよくなる場合があります。一般的なミュートとしては、厚手のタオルなどをバスドラムの中に入れてたりする方法があります。

なお、ヘッドの穴あけには、レモ・ホールカッタリングをご利用下さい。

新しいヘッドはドラムのエッジによくなじませてからチューニングすることをおすすめします。



チューニングポイント

### ヒント

チューニングの方法はパールの公式 Youtubeでも配信しております。



---

*Pearl*<sup>®</sup>

パール楽器製造株式会社

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090（テクニカルサポート）

<https://pearldrum.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

-2204-